



奈良県立医科大学眼科ニュースレター Vol. 23



ご挨拶

教授 緒方奈保子

皆様いかがお過ごしでしょうか？

COVID-19 感染もかなり長期化しています。5 月のゴールデンウィークにも感染は拡大せず、病院の病棟や手術室の稼働制限も少し緩められ、学生講義や実習もほぼリアル戻りました。すでに街は感染以前の状況を取り戻し、都会では多くの人で混雑しています（残念ながら奈良はちょっと違います。。）。学会も Web オンリーやハイブリッドスタイルもありますが、リアル開催も多くなりました。海外からの入国制限も緩和され、県民割引キャンペーンとかも始まっています。ますます人の移動が活発になりますね。しかし、7 月に入ってからはまだ感染者数が増加と報道され、まだまだ先の見えない状況が続きます。

COVID-19 感染が落ち着いてくれば海外渡航も、と期待されましたが、思いがけないウクライナにおける戦争のため状況は一変しました。ロシア上空を飛行出来ないでヨーロッパへはかなり時間がかかるようで、おまけに飛行機の運賃がベラボーに高くなっているそうです。ウクライナ戦争のニュースが報道されるのをみると心が痛みます。何にもできませんが、ただただ早く平和が戻ることを祈ります。

先日、奈良県大和西大寺の駅前で安倍晋三元首相が狙撃されるという衝撃的なニュースが全国を駆け巡りました。救急搬送ヘリの大きな音がして、当院に搬送されたんだな、とわかりました。平和と思い込んでいる日本でもこんな事が起こります。心からご冥福を祈ります。

それにしても、この円安！これでは海外に行けません。日本では 690 円のマクドナルドのビッグマックセットがニューヨークでは約 1500 円とか。。これってきっと医療機器の価格にも反映されてきますよね？

当医局では本年 4 月に 3 名の新入医局員を無事迎えることができました。本年 10 月には新専門医制度への移行も始まります。引きこもりも終わりですね、日々世の中は動いていくようです。

追伸：来年 2023 年 7 月 22 日（土曜）～23 日（日曜）眼循環学会が奈良県コンベンションセンター（奈良市）で開催されます。

皆様ぜひご参加いただけますようお願いいたします。



講演会

第 2 回奈良視神経炎セミナー2022

2022 年 4 月 7 日に、ライブ配信で開催されました。奈良県立医科大学 脳神経内科 井口 直彦 先生に、視神経脊髄炎の診断と治療と現状についてご講演頂きました。ゆかわ眼科クリニック 湯川英一先生に、視神経脊髄炎の位置づけー眼科開業医の立場からーを講演して頂きました。数々の症例の画像データをもとに詳細に説明していただき、鑑別点など大変勉強させて頂きました。ご講演頂きありがとうございました。



(写真：座長と演者の記念写真 左から上田准教授、緒方教授、湯川先生、井口先生、杉江教授)

第 6 回 NORS の会

2022 年 5 月 21 日に、大阪マリオット都ホテルで開催されました。研修医や学生と豚眼を用いたウェットラボ実習を行いました。その後、眼科医局紹介を行いました。独立行政法人 地域医療機能推進機構 (JCHO) 理事長 千葉大学病院 特任教授 山本 修一 先生に、眼科医だからできること、眼科医でもできることの講演をして頂き、眼科の魅力について語って頂きました。眼科を志そうとしている若者達と有意義な時間を過ごすことができました。



(写真 1：山本修一先生との記念写真)



(写真 2：ウェットラボ)

第 21 回奈良県眼科万葉フォーラム

2022 年 5 月 28 日に、THE KASHIHARA で開催されました。金沢大学医薬保健研究域医学系眼科学准教授 東出 朋巳 先生に、OCT による緑内障診断について WEB で講演して頂きました。神戸市立神戸アイセンター病院 院長 栗本 康夫 先生 に、原発閉塞隅角病の治療戦略 update ～ガイドライン改定を受けて～について講演をして頂きました。緑内障に関する最新の知識をわかりやすく、症例を提示して頂きながら解説していただき、大変勉強になりました。明日からの診療に必ず生かしていきたいと思っています。ありがとうございました。

新入医局員の御挨拶

沢田先生、名和先生、森本先生が入局されましたので挨拶させていただきます。

沢田 敦（さわだ あつし）

自然が好きで、休日にはよく登山や釣りに出掛けています。

まだまだ至らぬ点ばかりですが、生まれ育った奈良県の眼科医療に貢献できるよう努力して参りますので、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



名和 賢斗（なわ けんとう）

趣味はゲームで Switch から PS5 まで好きなソフトはやり込んでいます。また映画鑑賞も好きで見たい映画はなるべく公開日に映画館へ足を運んでいます。

まだまだ至らぬ点が多くありご迷惑をおかけすることが多いと思いますが、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。



森本 佑（もりもと ゆう）

趣味は映画鑑賞や漫画で、特にガンダムが好きです。最近あまり行けていませんが休みの日は温泉に行ったりしております。まだまだ未熟で至らない点も多いかと思いますが、生まれ育った奈良県の眼科医療に貢献できるよう日々精進し努力して参りますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



異動の御挨拶

太田先生が大和郡山病院、竹内先生、倉岡先生が大学、鴻池先生、井本先生が市立奈良病院、保田先生が奈良県総合医療センター、平井先生が南奈良総合医療センターに異動となりました。

太田 麻美子（大和郡山病院 眼科）

2022 年 6 月より大和郡山病院で勤務しております。部長としての苦労もありますが、地域医療に貢献できるように精進して参ります。今後ともよろしくお願い致します。

竹内 崇（奈良県立医科大学 眼科学教室）

2022 年 7 月に大学に戻ってまいりました。大学では後輩の指導はもちろん、臨床研究も積極的に行っていきたいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

平井 宏昌（南奈良総合医療センター 眼科）

2022 年 7 月から南奈良総合医療センターに勤務しております。大学で行っていた研究を引き続き行いながら、南和の地域医療に貢献できるように努めてまいります。

唯一の心残りは、大学にいる間に 2 本目の英文がアクセプトされるまで持っていけなかったことです。

鴻池 純輔（市立奈良病院 眼科）

2022 年 3 月より市立奈良病院で勤務することになりました。若輩者ではございますが、外来、手術ともに成長できるように頑張ります。今後とも御指導よろしくお願いいたします。

井本 翔（市立奈良病院 眼科）

2022 年 6 月より市立奈良病院で勤務することになりました。諸先輩方に御指導頂き、微力ながら奈良県の眼科医療に貢献できるように頑張ります。今後とも御指導よろしくお願いいたします。

保田 慎之亮（奈良県総合医療センター 眼科）

2022 年 7 月から奈良県総合医療センターに勤務することとなりました。初めての大学以外での勤務に不安もありましたが、松浦部長と水澤先生に教え導いていただきながら、地域医療に貢献できるよう日々努めております。院内の中華レストランがおいしいと評判でしたが、無くなってしまったのだけが残念です。

倉岡 大希（奈良県立医科大学 眼科学教室）

2022 年 7 月に奈良県総合医療センターから大学に戻ってまいりました。久しぶりの大学に緊張しながら日々診療しております。後輩 3 名と初めて一緒に働くことで、良い刺激を受けております。大学でしか経験できない症例に全力で取り組んでいきますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

専門医試験のご報告**鴻池 純輔（市立奈良病院 眼科）**

この度第 34 回眼科専門医試験を受験しました。昨年と同様に、新型コロナウイルス感染拡大に伴う措置として、1 日限りの各地方開催、面接試験が小論文形態での試験となりました。医師国家試験を受けてから約 6 年ぶりの試験でかなり緊張しましたが、周囲の先生方の試験に関するアドバイスやたくさんのご配慮をいただき無事合格することが出来ました。本当にありがとうございました。これから眼科専門医として新たな一步を歩むこととなりますが、まだまだ未熟者ですので精進していきたいと思ひます。

学位取得のご報告**平井 宏昌（南奈良総合医療センター 眼科）**

この度、無事学位を取得することができました。学位審査公聴会にご足労頂きました緒方教授、吉川教授、和中教授に心からお礼申し上げますと共に、学位論文作成にあたりましてご指導頂きました、輸血部の松本教授、山下先生をはじめ医局の諸先生方にも重ねてお礼申し上げたいと思ひます。実際の論文作成・投稿や審査にて、何分初めてのことで戸惑うこともありましたが、先生方の根気強いご指導と、多くの貴重なアドバイスを頂き無事終えることができました。これからも研究と臨床の両立に向けて頑張りたいと思ひます。



（写真：授与式後の緒方教授との記念写真）

受賞の報告

吉川先生がバイエルレチナアワードを受賞、西山先生が日本眼科学会学術展示優秀賞を受賞しましたので報告していただきます。

2021 年度バイエル レチナ・アワード受賞のご報告

吉川 匡宣（よしかわ眼科クリニック 院長）

2021 年度バイエル レチナ・アワードを受賞しましたのでご報告します。本アワードは網膜領域の研究に対する研究助成プログラムです。申請書は4名の審査委員により一次審査と二次審査に分かれて厳正に審査され、最終的に4名の受賞者が決まり今年の臨床眼科学会で受賞式が予定されています。

今回助成対象となった研究課題は「内因性光感受性網膜神経節細胞障害による生体リズムの乱れが眼血流へ及ぼす影響」です。緑内障は内因性網膜神経節細胞障害(ipRGC)を介して網膜の機能にも影響している可能性があり、ipRGC 障害と眼血流の関連を探る研究内容となっています。

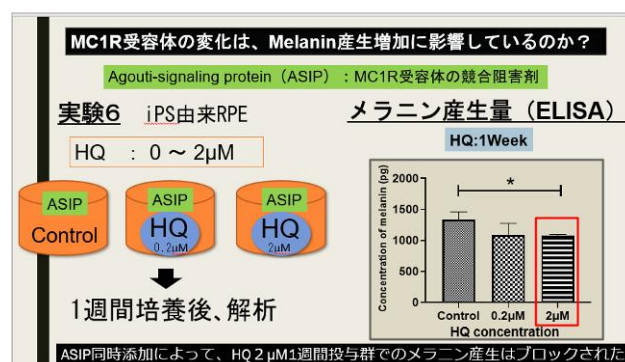
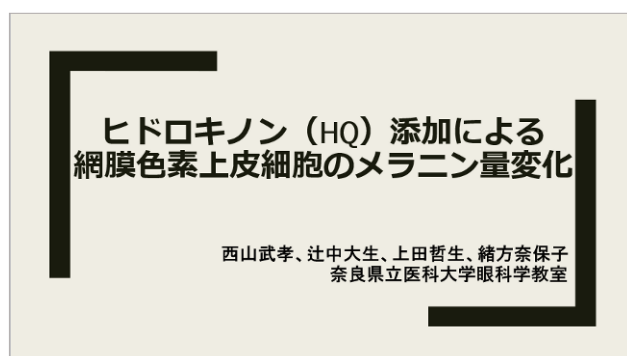
本研究を含めて私が行なっている緑内障コホート研究は、緒方奈保子教授の「好きなようにやってみたらいい」という温かい支援のもとに成り立っています。本アワードを受賞できたのはそのような自由な環境で研究させて頂いている点が大きいと感謝しております。また共同研究者である疫学予防医学講座の佐伯教授や大林特任准教授、眼科学教室の宮田先生や治村先生、研究スタッフの樋口さんや大内さんの献身的なご協力のおかげで受賞に至ったことをここに記しこの場を借りて深謝致します。

第 126 回日本眼科学会学術展示優秀賞受賞のご報告

西山 武孝（済生会中和病院 眼科）

日本眼科学会で発表させて頂きました学術展示「ヒドロキノン(HQ)添加による網膜色素上皮細胞のメラニン量変化」が、学術展示優秀賞を受賞いたしました。これまで、前駆病変としての色素むらや色素失脱について検討した論文はないことから、今回我々は iPS 由来 RPE 細胞を用い、色素むらの起こるメカニズムを明らかにし、AMD の発症機序の解明につなげることを目的とした研究です。

発表データ作成に際してご指導頂きました緒方教授、辻中先生にこの場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。



学会の報告

吉川先生、宮田先生、西山先生が日本眼科学会に参加されましたので報告させていただきます。

吉川 匡宣（よしかわ眼科クリニック 院長）

第 126 回日本眼科学会総会のシンポジウム 9：コホート研究から探る緑内障に関与する因子、本シンポジウムはコホート研究の疫学的な重要性、また日本発のコホート研究で得られた緑内障に関連する研究成果についての内容で、私は「生体リズム障害に着目した緑内障コホート研究：LIGHT study」について講演を行いました。

今回は現地発表を行ったことで、講演後に他の演者や座長と直接会話することが出来ました。コホート研究は長期間を要することが多く、資金・人材・時間・環境などで苦勞が絶えません。実際に他の研究者と話をしてみても同様の苦勞をしていることが分かり、現地発表は web では知ることの出来ない貴重な生の情報を知ることができる利点は大きいと実感しました。



（写真：座長・シンポジストの先生方との記念写真）

宮田 季美恵（奈良県立医科大学眼科学教室 助教）

2022 年 4 月 14 日・17 日に大阪で開催されました第 126 回日本眼科学会総会に参加しましたのでご報告申し上げます。

コホート研究から探る緑内障に関与する因子というシンポジウムを会場で拝聴しました。舟形町スタディ眼科領域を牽引された川崎良先生のお話から始まり、慶應大学、京都大学の the Nagahama study、九州大学の久山町研究のお話に続き、奈良医大からは吉川先生が発表されました。様々な角度、視点からのコホート研究があり、とても興味深く拝聴しました。最後のディスカッションでは様々な議題が繰り広げられ、終了時間をオーバーする白熱ぶりでした。コホート研究を続けると出てくる難題に対してのディスカッションもあり、どこも同じような難題に悩んでいるのだなと思いました。私の発表はポスターセッションで事前登録でした。早く COVID-19 が終息し、会場でディスカッションができるようになれば勉強できることも多くなるように思いました。

西山 武孝（済生会中和病院 眼科）

第 126 回日本眼科学会総会に参加しました。

私は現地参加したのですが、コロナ禍であり大半の講演、発表はオンラインやオンデマンドでした。それでも画面越しに地方や海外の研究者の方々と交流させて頂き、とてもよい刺激になりました。学術展示優秀賞をいただいた「ヒドロキノン(HQ)添加による網膜色素上皮細胞のメラニン量変化」についての研究をさらに進められるよう、日々努力を続けて行こうと改めて決心した学会参加となりました。

最新の研究報告

吉川先生の論文がアクセプトされましたので、ご報告いただきます。

吉川 匡宣（よしかわ眼科クリニック 院長）

Postillumination Pupil Response と緑内障重症度の関連：LIGHT study

Yoshikawa T, Obayashi K, Miyata K, Saeki K, Ogata N. Association Between Postillumination Pupil Response and Glaucoma Severity: A Cross-Sectional Analysis of the LIGHT Study. Invest Ophthalmol Vis Sci. 2022;63(3):24.

緑内障患者では生体リズム調整に関与する内因性光感受性網膜神経節細胞(ipRGC)が障害されている可能性が示唆されている。ipRGC は生体リズム中枢である視交叉上核に非視覚的な光刺激を伝達する役割を果たし、ipRGC 機能は Postillumination Pupil Response(PIPR)として青色・赤色光刺激前後の瞳孔径を測定することで評価が可能である。

我々は緑内障患者 148 名の PIPR パラメーター（6-s PIPR, Net PIPR, Net PIPR change）を測定し、視野および乳頭周囲網膜神経線維層厚との関連を横断解析した。その結果、既知の交絡因子で調整した多変量解析で PIPR と緑内障重症度に有意な関連を認めた。これは緑内障が重症であるほど ipRGC 機能が低下していることを示しており、緑内障ドナー眼を使用した過去の実験研究の報告と一致するものであった。

これらの結果は緑内障患者で生体リズムの乱れが生じている可能性を示唆している。

今後の縦断研究で緑内障が睡眠障害などの生体リズム障害をきたすのか、また生体リズムの乱れ自体が緑内障の進行に影響を与えるのか検討していく予定である。



今後の予定

2022 年 8 月 25 日（木）第 9 回奈良県眼科まほろばフォーラム	ホテル日航奈良ハイブリッド開催
2022 年 9 月 10 日（土）第 22 回奈良県眼科万葉フォーラム	The Kashihara
2022 年 9 月 28 日（水）Retina フォーラム in Teams	WEB 開催
2022 年 12 月 4 日（日）奈良医大眼科夏の勉強会	シェラトン都ホテル大阪

日本各地のご高名な先生方をお招きし、最新の知見を得る絶好の機会です。

医師はもちろん、医学部生・研修医・ORT の皆様の参加を心よりお待ちしております。

詳しくは、教室ホームページをご覧ください。

外来診察表

		月	火	水	木	金
1診	午前	西	上田		緒方	手術日
	午後	小児・神経眼科外来	網膜硝子体外来	吉川 緑内障外来 ※予約のみ	網膜硝子体外来	専門外来
2診	午前	後岡	大熊（第1・3） 小児・黄斑外来	手術日	小林（第1・3・5）	手術日
	午後	網膜硝子体外来		専門外来	峯（第2・4）	専門外来
3診	午前	宮田	治村	手術日	辻中	手術日
	午後	緑内障外来	網膜硝子体外来	専門外来	角膜外来	専門外来
4診	午前	寺田	中尾（第2・4・5）	手術日	治村（第2・4・5）	手術日
	午後	寺田		専門外来	網膜硝子体外来	専門外来
5診	午前	藤原	岡部	手術日	竹内	手術日
	午後	藤原	岡部	専門外来	網膜・ぶどう膜外来	専門外来
6診	午前	倉岡	和田、萬代		寺田（第1・3） 和田（第2・4・5）	
	午後	倉岡	和田、萬代			

- ・専門外来は完全予約制です。
- ・初診の場合はまず、月・火・木の外来を受診するようお願い致します。
- ・地域連携の予約は月が6名、火・木が8名、水・金は5名可能となっております。

編集後記

平素は奈良県立医科大学眼科学教室の運営にお力添え頂き、誠に有難うございます。ニュースレターでは引き続き、同窓会の諸先生方からのご投稿をお待ちしております。先生が日頃感じておられることや、趣味のお話など、どのような内容でも結構です。ご投稿、ご質問などは下記メールアドレスまでよろしくお願い致します。

tomon@naramed-u.ac.jp 奈良県立医科大学 眼科 西 智



今年の干支の虎（信貴山朝護孫子寺）